

## 愛知大学ブランド向上化・卒業生アンケート調査結果(概要速報)

### 愛知大学三遠南信地域連携研究センター

愛知大学は 2018 年度から「文部科学省私立大学研究ブランディング事業」に選定され、愛知県、静岡県、長野県の県境地域である三遠南信地域（下図）を中心に、『越境地域マネジメント研究』を通じて縮減する社会に持続性を生み出す大学」をテーマとした政策研究を行っており、今回の調査は、このブランディング事業の一環として行われた。

■調査期間 2020 年 1 月～2 月

■調査対象 三遠南信地域が住所として大学登録されている  
愛知大学卒業生 2999 名

■調査対象地域（三遠南信地域）

三遠南信地域は、総人口約 250 万人の地域で、基幹都市は愛知県豊橋市、静岡県浜松市、長野県飯田市の 3 市。



## ◇アンケート調査について

### 1 調査目的と調査概要

三遠南信地域には 2.3 万人（名簿上）を超える愛知大学卒業生がおり、地域を形成し、地域と大学をつなぐ重要な人材といえる。こうした背景から、三遠南信地域の卒業生を対象に、大学に対する認識や要望、大学のブランド力の向上、地域形成への参画意識等についてアンケート調査を実施した。

調査対象	三遠南信地域が住所として大学登録されている愛知大学卒業生
調査方法	郵送配付および郵送回収によるアンケート調査
調査期間	2020年1月～2月
配付および回収	746/2999(回収数/配付数) 回収率;24.9%

### 2 配布および回収概要

調査対象の卒業生については、年代、学部構成を踏まえランダムに抽出した。年代ごとの配付に対する回収率をみると、60歳代以上はやや高い回収率となっているが、どの年代からも一定の回答を得た。また、学部別では、いずれの学部についても 20%以上の回答を得た。

年代	配付数 (人)	回収数 (人)	回収率 (%)	卒業学部	配付数 (人)	回収数 (人)	回収率 (%)
20歳代	357	65	18.2	法経学部	842	215	25.5
30歳代	632	117	18.5	法学部	115	25	21.7
40歳代	552	81	14.7	経済学部	381	92	24.1
50歳代	435	112	25.7	経営学部	110	33	30.0
60歳代	506	172	34.0	現代中国学部	34	7	20.6
70歳代	400	139	34.8	国際コミュニケーション学部	128	30	23.4
80歳代以上	117	46	39.3	文学部	390	107	27.4
未記入	—	14	—	地域政策学部	46	10	21.7
合計	2999	746	24.9	短大・短期大学部	953	206	21.6
				その他・未記入	—	21	—
				合計	2999	746	24.9

## I. 回答者属性

### I-1 愛知大学への入学選択理由

入学先として「愛知大学を選んだ理由」について尋ねた。全体でみた場合、最も多い回答は「自宅から通えるから」であり、約 8 割がこの回答を選択しており、愛知大学への入学を決定する基礎的な要素である。次いで「学びたい学部や教育内容があるから」が 36.5%、「自分に合った偏差値だから」が 35.7%、「他大学と比べて学費が安いから」が 33.6%となっている。また、「自分にあった受験科目だから」23.9%、「歴史や伝統があるから」17.6%、「家族・親戚・知人に薦められたから」15.2%と続いている。

次に、年代別において特徴的な回答をみていくと、いずれの年代でも「自宅から通えるから」が最も回答が多く、特に 40歳代や 70歳代では 8割以上の回答があった。

20歳代および 30歳代では「学びたい学部や教育内容があるから」が 4割強と高く、入学後に満足できる教育内容をよく調べた上で受験している。また、「自分に合った偏差値だから」も 30%台と次いで高く、安全志向型の受験となっている。

40歳代では、「自分に合った偏差値だから」が 50%と、20歳代、30歳代と比べてさらに高くなっており、当時の受験事情を反映した結果となっている。しかし、「学びたい学部や教育内容があるから」も約 5割の回答があり、偏差値に縛ら

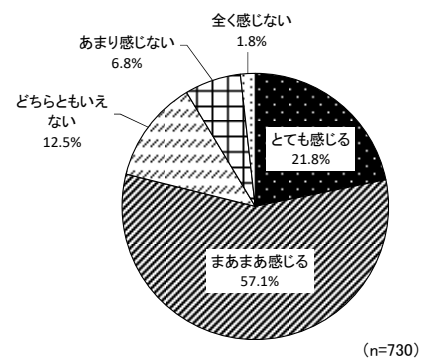
れながらも、自分の学びたいことを勉強できる大学を受験していたと考えられる。

50歳代では、「自分に合った偏差値だから」が50.5%と40歳代と同様高くなっている。また「他大学と比べて学費が安いから」とする回答が高くなっており、愛知大学に入学を決定する特徴の一つであったと考えることができる。60歳代では、「他大学と比べて学費が安いから」とする回答が二番目に高い回答となっており、逆に「学びたい学部や教育内容があるから」は回答率が低くなっている。70歳代も、二番目に高い回答は「他大学と比べて学費が安いから」であるが、80歳代以上になるとその回答の割合は減少する。80歳代以上では、「学びたい学部や教育内容があるから」が回答率が高く、特にこの回答率は全世代の中で最も高い割合となっている。

愛知大学を選んだ理由×年代(構成比)		全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
有効回答数		732	65	117	82	111	172	139	46
教育	教育スタッフや施設、教育プログラムが充実しているから	4.1	7.7	4.3	2.4	1.8	1.2	6.5	10.9
	学びたい学部や教育内容があるから	36.5	44.6	41.0	48.8	28.8	29.1	31.7	52.2
課外	資格取得制度が充実しているから	10.2	10.8	4.3	1.2	5.4	10.5	18.0	28.3
	スポーツ、文化活動が活発だから	3.8	1.5	7.7	1.2	4.5	4.1	2.2	4.3
伝統	歴史や伝統があるから	17.6	20.0	12.0	20.7	18.9	18.6	17.3	17.4
	中国などの国際的な背景を持っているから	6.1	1.5	4.3	4.9	9.9	4.1	9.4	8.7
就職	卒業生の就職実績があるから	9.0	20.0	12.0	14.6	4.5	6.4	5.0	8.7
	就職支援が充実しているから	1.8	9.2	2.6	1.2	1.8	0	0	2.2
受験	自分に合った偏差値だから	35.7	38.5	36.8	50.0	50.5	36.0	20.9	10.9
	自分に合った受験科目だから	23.9	9.2	10.3	25.6	38.7	27.9	23.0	28.3
経済	他大学と比べて学費が安いから	33.6	18.5	24.8	20.7	38.7	44.2	42.4	21.7
	アルバイトがしやすいから	4.1	3.1	3.4	4.9	7.2	4.7	2.2	2.2
推薦	高校・塾の先生に薦められたから	6.4	12.3	8.5	3.7	5.4	5.8	6.5	2.2
	家族・親戚・知人に薦められたから	15.2	16.9	12.0	15.9	10.8	14.5	18.7	21.7
立地	自宅から通えるから	78.6	76.9	76.1	84.1	75.7	79.1	82.0	71.7
	都市にある大学だから	1.8	9.2	0.9	0	0.9	0	0.7	8.7
ソフト	キャンパスの雰囲気が良いから	9.6	10.8	11.1	12.2	9.9	5.8	10.1	10.9
	先輩・知人が通っているから	9.6	9.2	1.7	2.4	9.9	9.9	15.8	21.7
その他		5.7	7.7	3.4	3.7	9.0	4.7	5.0	10.9

## I-2 愛知大学への愛着

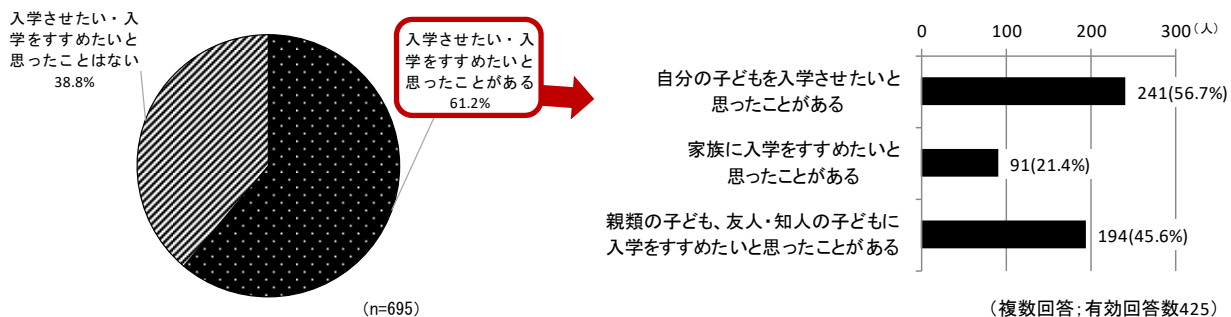
卒業生が愛知大学に対して、どの程度「愛着」を持っているのかを尋ねた。愛着を「とても感じる」が21.8%、「まあまあ感じる」は57.1%であり、これらを合わせると78.9%となり、8割近くの回答者が愛知大学に対して、高い「愛着」を持っていることが分かった。



## I-3 愛知大学への入学のすすめ

ここでは、愛知大学に入学させたい、入学をすすめたいと思ったことがあるのかについて、それぞれ「自分の子どもを入学させたいと思ったことがある」、また「家族」、「親類の子ども、友人・知人の子ども」に対して「入学をすすめたいと思ったことがある」かどうか尋ねた。

「入学させたい」または「入学をすすめたい」について、選択肢の中からいずれか一つでも思ったことがある回答者は61.2%で、6割の回答者が愛知大学へ子どもを入学させたい、または誰かにすすめたいと考えていることが分かった。



では、「入学させたい」または「入学をすすめたい」の回答について詳細をみると、「自分の子どもを入学させたいと思ったことがある」とする回答は56.7%であり、約6割が自身の子どもを愛知大学へ入学させたいと思ったことがあるという結果だった。また「親類や友人・知人の子ども」に愛知大学への入学をすすめたいと思ったとする回答が45.6%と4割以上あり、愛知大学の良さを卒業生がすすめている状況も明らかとなった。

## II. 学生生活について

### II-1 在学中に力を入れた項目

学生時代に力を入れた項目について、各項目について5段階評価で尋ねた。

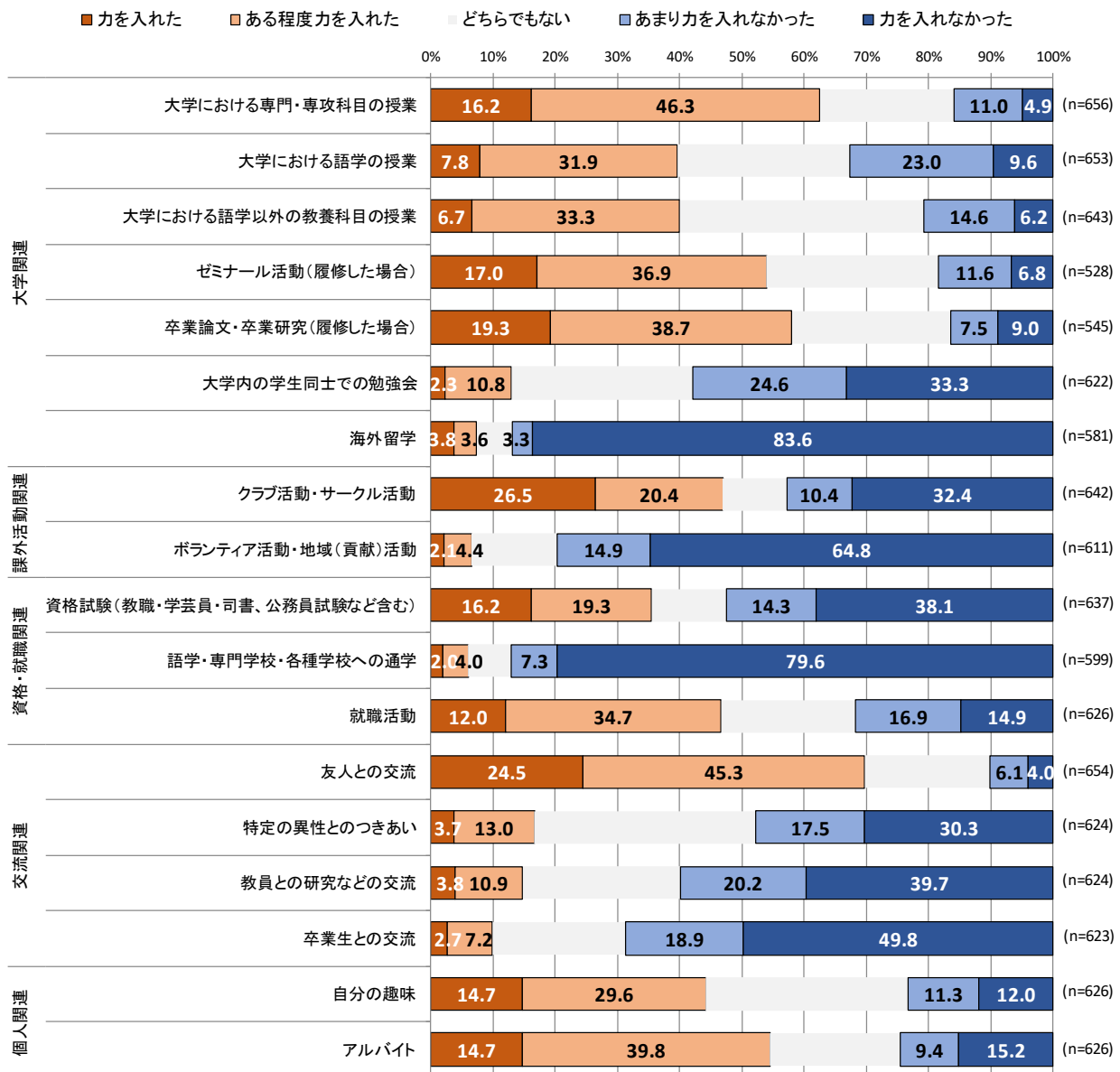
まず、大学関連の項目についてみると、授業やゼミ、卒業論文・卒業研究に関する項目は、「力を入れた」とする回答が高く、特に「大学における専門・専攻科目の授業」については「力を入れた」と「ある程度力を入れた」とする回答を合わせると62.5%となり、6割以上の卒業生が力を入れていたことが分かる。また、「ゼミナール活動」や「卒業論文・卒業

研究」についても、同様に合わせると 6 割近くになり、卒業生の多くが授業やゼミ、卒業論文等に力を入れていたことが分かった。

次に、課外活動関連の項目をみると、「クラブ活動・サークル活動」について「力を入れた」と「ある程度力を入れた」を合わせた回答は 46.9%となり、5 割近い卒業生が力を入れたと回答した。また、資格・就職関連の項目では「就職活動」に「力を入れた」と「ある程度力を入れた」とする回答を合わせると 46.7%、「資格試験」は 35.5%となり、それぞれ力を入れていたことが分かる。

交流関連の項目では、「友人との交流」について、「力を入れた」と「ある程度力を入れた」を合わせると 69.8%となり、卒業生の多くが学生時代に友人との交流に力を入れていたことが分かる。しかし、その他の項目は高くはなく、特に「卒業生との交流」は「力を入れた」と「ある程度力を入れた」を合わせても 9.9%と低く、今後、卒業生と在学生との交流機会の創出を図っていく必要がある。

個人関連では、特に「アルバイト」について、「力を入れた」と「ある程度力を入れた」を合わせた回答が 54.5%と半数を超えており、多くの卒業生が学生時代アルバイトに力を入れていたことが分かった。



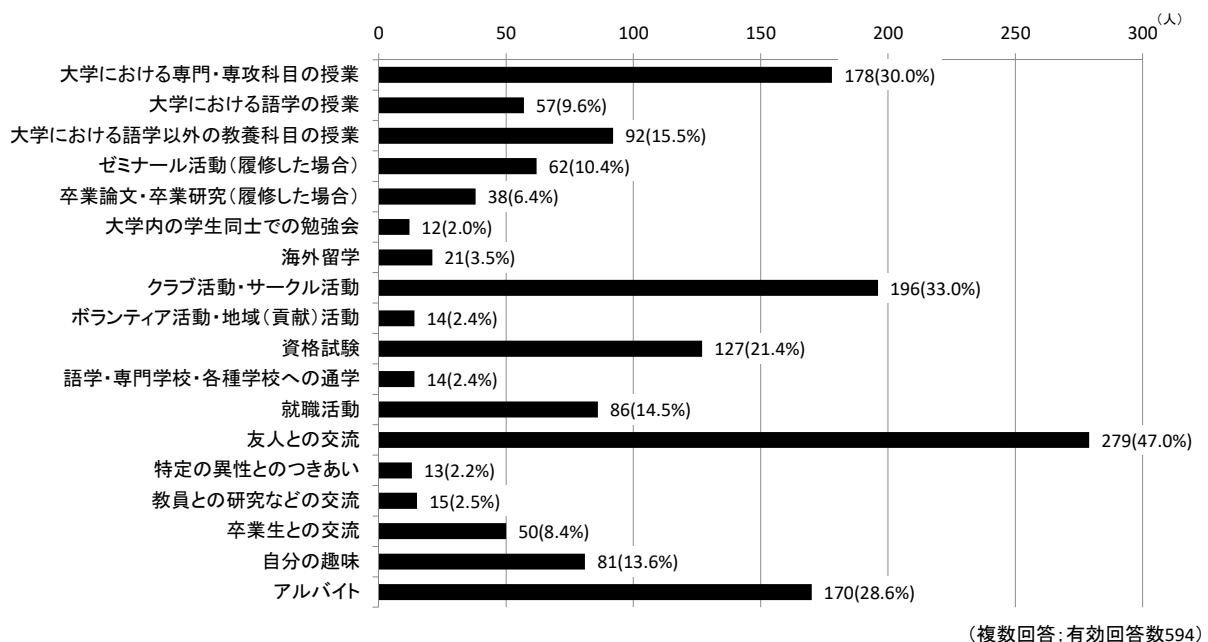
## Ⅱ-2 卒業後に役立つ項目

Ⅱ-1と同様の項目に対して、「卒業後に役立つ項目」について尋ねた。

卒業生が卒業後に役立つと考えている項目として、最も回答が多かったのは「友人との交流」47%であり、有効回答数の約半数が選択していた。大学時代に交流した友人との関係を、卒業後も重要なつながりとして位置付けていることが分かる。

次いで回答が多かったのは「クラブ活動・サークル活動」の33%であり、課外活動が卒業後にも役立っていることが分かる。これには、クラブやサークルでの活動を通じた交流が、卒業後にも継続していることが関連していると考えられ、人間関係の構築こそが大学生活において重要であることを意味している。

三番目に多い回答として、「大学における専門・専攻科目の授業」が30%となっているほか、「大学における語学以外の教養科目の授業」についても15.5%の回答となっている。愛知大学への入学を選択した理由として「学びたい学部や教育内容があるから」とする回答が多かったことから、大学側も学生に対して引き続き質の高い教育を提供していく必要があると思われる。四番目に多いのは「アルバイト」で28.6%が回答しており、アルバイトの経験が、卒業生のその後のキャリア形成に大きく影響を与えていると推測される。

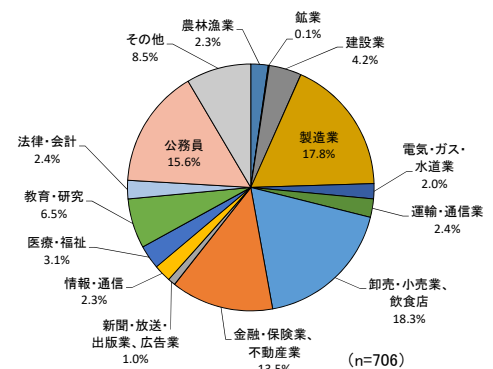


## Ⅲ. 卒業後の(最初の)仕事について

大学卒業後の就職状況について尋ねた。ここでは、卒業後最初の就職についてみていく。

### □業種

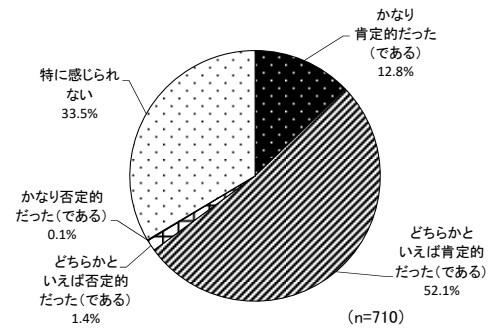
卒業後最初の就職の「業種」をみると、「製造業」への就職が17.8%と最も高く、製造業の盛んな愛知県に立地する大学の特徴であるといえる。また、愛知大学の特徴の一つである公務員への就職も多い。





## □愛知大学卒業生としての評価

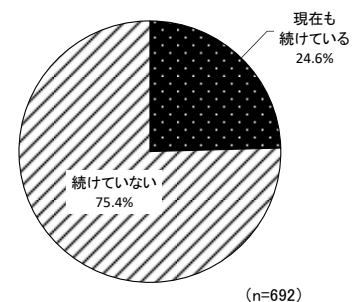
「愛知大学の卒業生であること」が、就職先でどのような評価を受けていた（受けている）と思うか尋ねている。「かなり肯定的であった（である）」が12.8%、「どちらかといえば肯定的だった（である）」は52.1%と、両方を合わせると64.9%となり、6割以上の卒業生が、「愛知大学の卒業生であること」について、就職先で評価されていた（評価されている）と感じている。



## □継続

卒業後最初の就職について、現在もその就職先で継続して働いているのか、またはその後離職等により退職したのか、その状況について尋ねた。

現在も、卒業後最初の就職先で働いている卒業生は24.6%と3割に満たなかった。その他の75.4%の卒業生は、卒業後最初の就職先からは離れていると考えられるが、定年退職といったリタイア層も一定数含まれていると考えられる。



卒業後最初の就職(継続)	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
現在も続けている	24.6	68.8	43.4	24.1	25.0	14.0	5.6	2.6
続けていない	75.4	31.3	56.6	75.9	75.0	86.0	94.4	97.4
合計	100	100	100	100	100	100	100	100

そこで、回答者の年代別にクロスしたものをみると、60歳代から「続けていない」とする回答が約9割になることから、多くは定年退職等によるリタイア層の回答であると考えられる。しかし、リタイア世代ではない年代でも、「続けていない」との回答が多く、20歳代では31.3%、30歳代では56.6%、40歳代および50歳代では70%台となっており、これらの年代では卒業後最初の就職先から転職している実態が確認できる。

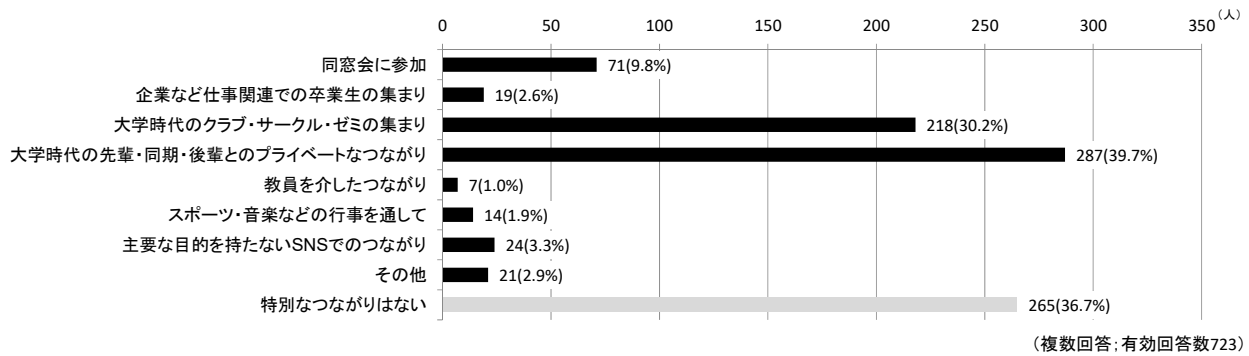
## Ⅳ. 卒業生同士や大学とのつながりについて

### Ⅳ-1 卒業生同士のつながり

卒業生同士のつながりや、卒業生と大学とのつながりの現状について尋ねた。

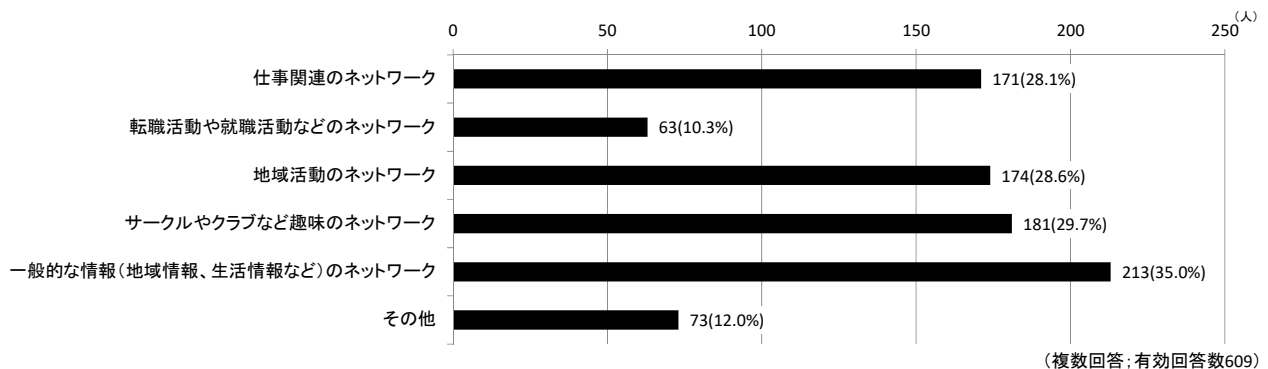
まず「特別なつながりがない」とする回答は36.7%であり、6割以上の回答者が卒業生同士、何らかのつながりを保持しているといえる。

中でも、「大学時代の先輩・同輩・後輩とのプライベートなつながり」を持っている卒業生が39.7%と最も多い。また、「大学時代のクラブ・サークル・ゼミの集まり」によるつながりも30.2%であった。しかし、「同窓会に参加」する卒業生は9.8%とあまり多くはない結果となっていた。



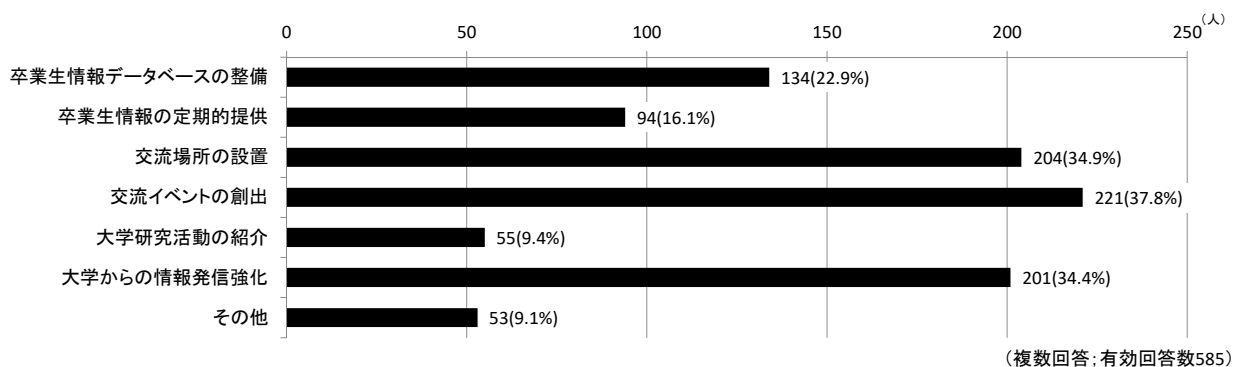
#### IV-2 卒業生同士の連携について参加したい分野

卒業生同士の連携について参加してみたいと思う分野について尋ねた。もっとも回答が多かった分野は「一般的な情報（地域情報、生活情報など）のネットワーク」で35%となっていた。次いで、学生時代のサークルやクラブ活動をふまえたと考えられる「サークルやクラブなどの趣味のネットワーク」も29.7%と高い。特に、「仕事関連のネットワーク」が28.1%と高くなっており、これは仕事やビジネスに関するネットワークを広げることで、今の仕事に活かしたいという希望であると考えられる。



#### IV-3 卒業生同士の連携促進

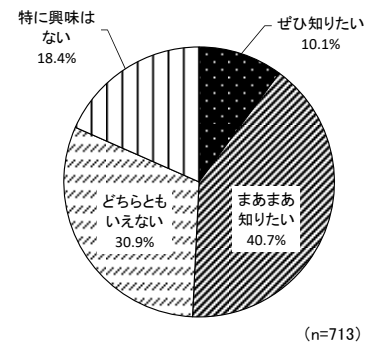
卒業生同士の連携の促進について必要であると思うことについて尋ねた。「交流イベントの創出」と考える卒業生が37.8%と最も多くなっていた。また、「交流場所の設置」が34.9%、「大学からの情報発信強化」が34.4%の順となっている。特に、交流機会の創出に関連する回答が多く、今後そのような場の提供について考えていく必要がある。また、大学からの情報発信強化の必要性を求める回答も多く、大学の広報やPRなどについて考えていく必要があるだろう。





#### IV-4 大学情報について

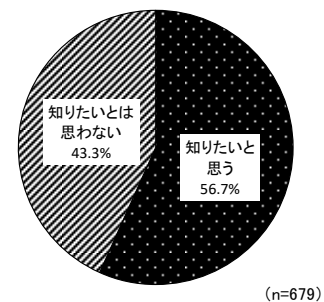
大学の情報について知りたいと思うかについては、「ぜひ知りたい」が 10.1%、「まあまあ知りたい」が 40.7%となっており、合わせると 50.8%となり、回答者の約 5 割が大学情報について知りたいと考えている結果となった。卒業生に対する大学情報の広報 PR についてより細やかに行っていく必要がある。



### V. 三遠南信地域における愛知大学の地域連携活動について

#### V-1 愛知大学の地域連携活動の情報について

三遠南信地域で行われている、愛知大学のさまざまな地域連携活動について知りたいと思うか尋ねたところ、「知りたいと思う」との回答は 56.7%となり、6 割近い回答者が愛知大学の連携活動について知りたいと思っている。



#### V-2 愛知大学の地域連携活動への参加について

また、三遠南信地域で愛知大学が行う地域連携活動に参加してみたいと思うかどうか尋ねたところ、約 150 名、2 割強の回答者が「参加してみたいと思う」と回答しており、多くの卒業生が大学の連携活動に興味を持っている。特に、約 90 名は氏名を記して連携活動への参加を望んでいた。

